

高齢者の交通事故防止対策を図れ！

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3-3
Tel 24-2021
Fax 24-2049

岩手県議会2月定例会（2月15日～3月23日）が開催されました。新年度予算を審議した予算特別委員会のうち、3月8日の警察本部の質疑について報告いたします。なお、県政報告等で引き続き報告いたします。



千田美津子議員

高齢者の交通事故防止対策を図れ！

千田議員は、交通事故全体が減少傾向にあるも、事故に占める高齢ドライバーの事故割合が令和4年32・3%で、最高になっていること、また、高齢者死者数の割合が62・2%という状況を受け、高齢者の交通事故防止対策について質しました。

高齢者宅への在宅訪問などで啓発推進

これに対して、交通部長は高齢者向けの啓発について、令和5年は「在宅訪問指導プラス」と名付け、警察官が各家庭を訪

反射材の着用など 県民一体となった取り組みで事故防止を！

問する際に指導を行い、不在家庭については、チラシのポスティングをするなど、「交通安全の指導情報が必要な方に届ける取り組み」を積極的に推進したいと、述べました。



千田議員は、高齢者の事故防止のために、警察のみならず、県民一体となった取り組みが必要であり、広報の重視と、夕方の黒っぽい服装は視野に入りづらく、反射材等の着用の促進を大きな運動にしていくべきではないかと質しました。

街頭活動や夜光反射材の着用指導等を推進

交通部長は、歩行者事故は、薄暮時間帯、日没前後1時間の事故が多くなるとし、①その時間帯のパトカー等の街頭活動、②夜光反射材をつけていただくような対策を進めており、巡回訪問の際、夜光反射材と一緒にお届けするなどの活動も進めている、と述べました。

人命優先で信号設置など安全対策を！

千田議員は、新年度、県内で最も危険な交差点とされていた小谷木橋（羽田側）に信号機が設置されることを評価しつつ、人命最優先で、県内危険箇所への信号機の早期設置について質しました。また、報告された横断歩道の塗り直し51件もあることから、岩手において、消えかかった横断歩道がある状況は解消すべき、と質しました。

優先順位を見極め 確実にすすめていきたい

これに対して県警本部長は、予算の都合もあるが、優先順位を見極めながら、確実にやっていきたいと述べるに止まりました。



日本共産党
参議院議員
いわぶちあや

3月19日

西和賀町議選 つぎは「ふもとかおりさん」を

岩手県西和賀町で演説会。4月の町議選は、高橋和子さんからふもとかおりさんへ。

西和賀町は、旧沢内村と旧湯田町が合併してできた町です。沢内村は全国で初めて高齢者の医療費無料化を行ったことで有名。そのなかで、福祉のことなら和子さんと言われる活動をしてきました。「初めて議員になったときは、手を挙げてもあててもらえなかった」と話していましたが、そこを切り開き、議会で住民の立

配偶者等への暴力の根絶について

千田議員は、コロナ禍で、配偶者等への暴力が潜在化しているとの指摘もあることから、県内の状況と今後の対応策について質しました。

被害者の安全を最優先に 県・市などと連携し 保護措置等を講じている

生活安全部長は、配偶者への暴力件数は、令和4年中は328件で前年比89件の減少で、家庭内で行われる場合が多く、潜在化しやすく、暴力に至った原因等背景は様々であり、個別事情に応じて対応している。被害者の安全を最優先に捜査し、県や市町村などと連携して、一時避難など被害者の保護措置を講じている。その後も、被害者に対する随時連絡を行うなどして安全確認を行っている、と述べました。



場で発言してきました。その町民の議席をつなぐために立候補を決意したかおりさん。和子さんの娘さんです。2年前にふるさとに戻り、子育てサークルなどで、同世代のみなさんの声を聞きながら、一緒に子育てしやすい町はもろろん、誰もが安心してくらせる町づくりをしたいと奮闘しています。演説会場にはかおりさん発案のキッズスペースも！かおりさんが私と同世代というのとても嬉しい。